

令和4年度

網走市における景気動向調査

<第IV四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1	調査時点及び調査対象期間	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	回収状況	1

第2章 概況

2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
1)	建設業	3
2)	製造業	4
3)	卸売業	4
4)	小売業	5
5)	サービス業	5

第3章	業種別設備投資の状況	6
-----	------------	---

第4章	業種別経営上の問題点	7
-----	------------	---

第5章	業界の景気動向等その他のご意見	8
-----	-----------------	---

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和5年1月1日（日）～令和5年3月31日（金）
- (2) 調査対象期間：令和5年1月～3月期実施、及び令和5年4月～6月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

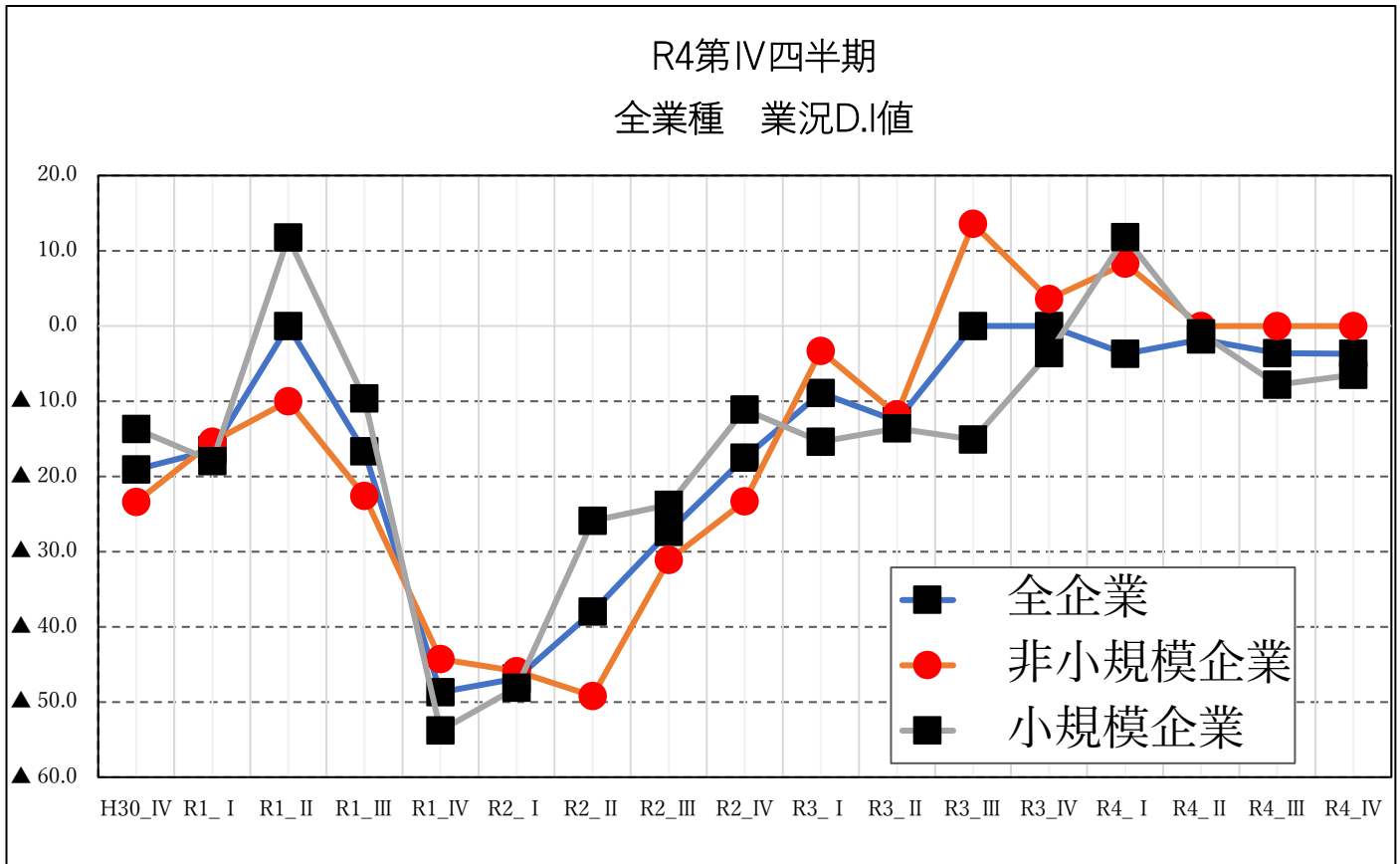
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Google フォーム）による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	23件 (非小規模企業：12件) (小規模企業：11件)	76.7%
製造業	24件	17件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：8件)	70.8%
卸売業	20件	12件 (非小規模企業：8件) (小規模企業：4件)	60.0%
小売業	40件	30件 (非小規模企業：17件) (小規模企業：13件)	75.0%
サービス業	44件	28件 (非小規模企業：15件) (小規模企業：13件)	63.6%
合計	158件	110件	69.6%

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和4年度第IV四半期（1月～3月）の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」25.9%、「悪化企業」29.6%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は△3.7となり、前回（D.I値△3.6）に比べ、その差は0.1ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」31.7%、「悪化企業」31.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は0.0となり、前回（D.I値0.0）に比べ、その差は0ポイントと変化なしとなっています。

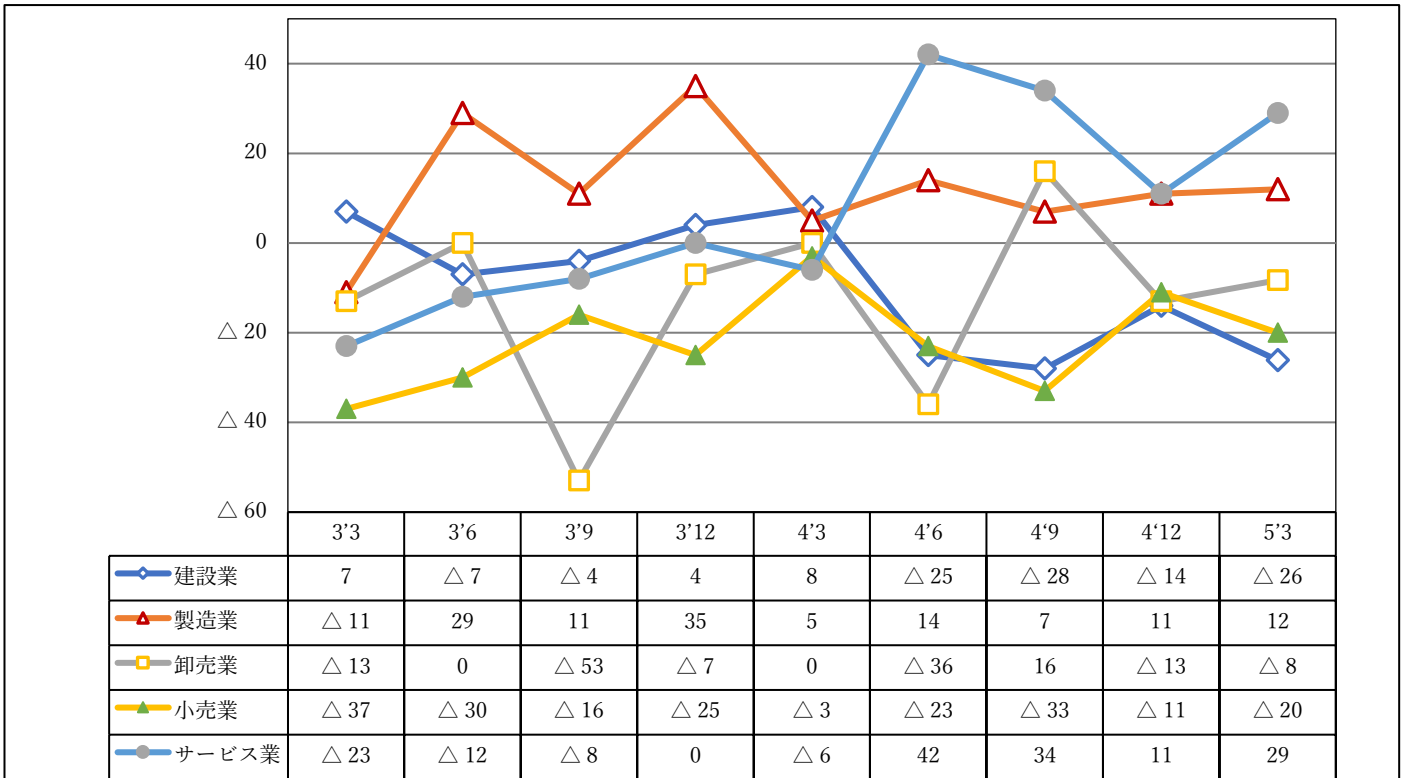
小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」21.7%、「悪化企業」28.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は△6.6となり、前回（D.I値△7.9）に比べ、その差は1.3ポイント好転傾向となっています。

次期（4月～6月）見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」23.1%、「悪化企業」24.1%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は△1.0となり、今期（D.I値△3.7）に比べ、その差は2.7ポイント好転傾向となっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」20.0%、「悪化企業」25.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は△5.0となり、今期（D.I値0.0）に比べ、その差は5.0ポイント悪化傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」28.3%、「悪化企業」23.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は4.4となり、今期（D.I値△6.6）に比べ、その差は11.0ポイント好転傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

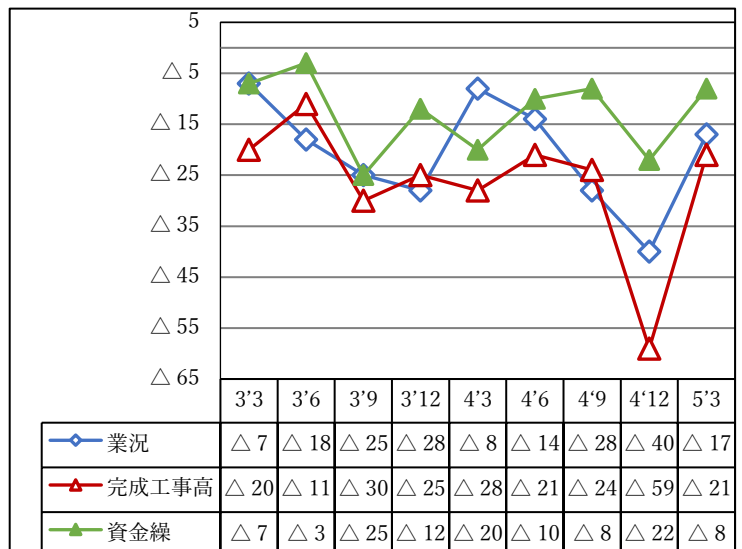
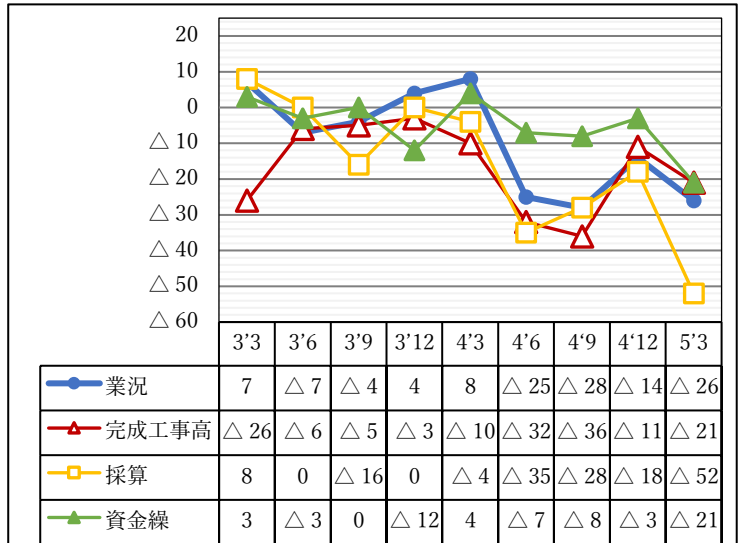
前年比で「好転企業」17.4%、「悪化企業」39.1%、D.I.値△21.7と前年同期（△10.0）に比べ11.7ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」13.0%、「悪化企業」65.2%、D.I.値△52.2と前年同期（△4.0）に比べ48.2ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D.I.値△17.4（前年同期D.I.値△8.0）、完成工事高D.I.値△21.7（同△28.0）、資金繰り△8.7（同△20.0）と前年同期に比べ、2つの見通しで好転傾向を示しました。



2) 製造業

生産高

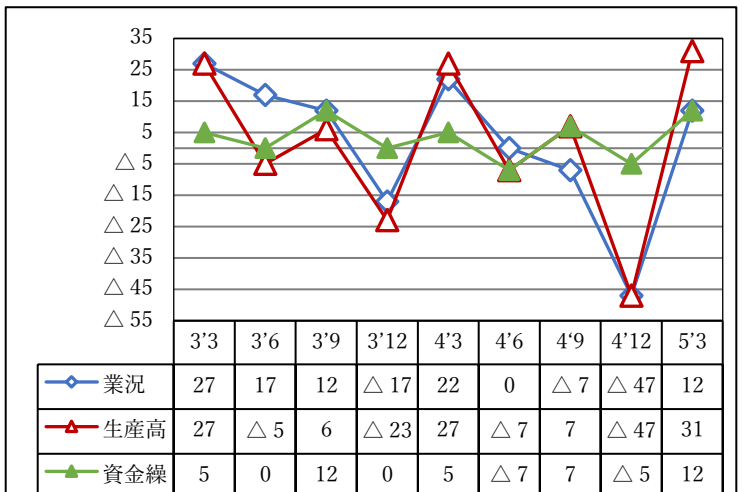
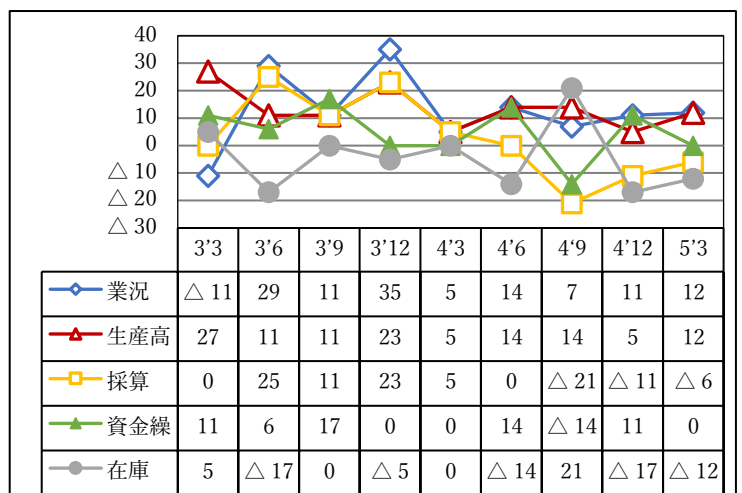
前年比で「好転企業」31.3%、「悪化企業」18.8%、D.I.値12.5と前年同期（5.6）に比べ6.9ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」18.8%、D.I.値△6.3と前年同期（5.6）に比べ11.9ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I.値 12.5（前年同期 D.I.値 22.2）、生産高 D.I.値 31.3（同 27.7）、資金繰り 12.5（同 5.5）と前年同期に比べ、2つの見通しで好転傾向を示しました。



3) 卸売業

売上高

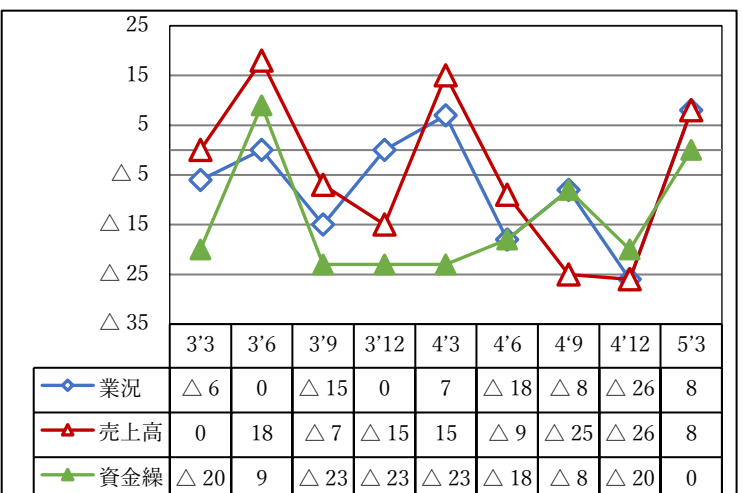
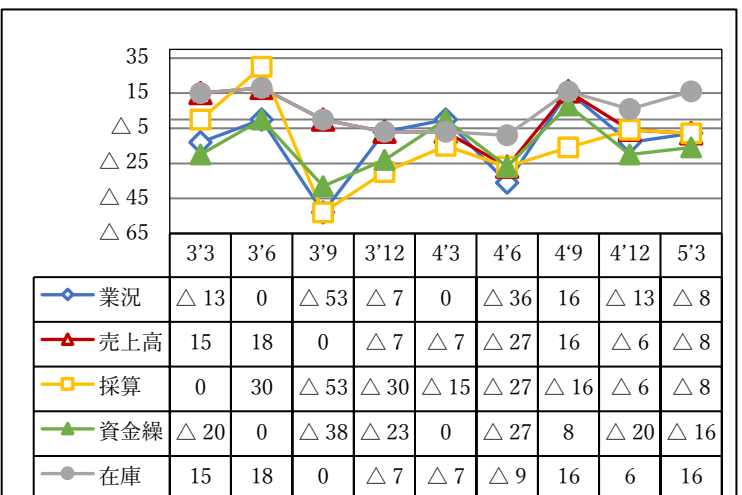
前年比で「好転企業」33.3%、「悪化企業」41.7%、D.I.値△8.3と前年同期（△7.7）に比べ0.6ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」25.0%、D.I.値△8.3と前年同期（△15.4）に比べ7.1ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I.値 8.3（前年同期 D.I.値 7.7）、売上高 D.I.値 8.3（同 15.4）、資金繰り 0.0（同△23.1）と前年同期に比べ、2つの見通しでは好転傾向を示しました。



4) 小売業

売上高

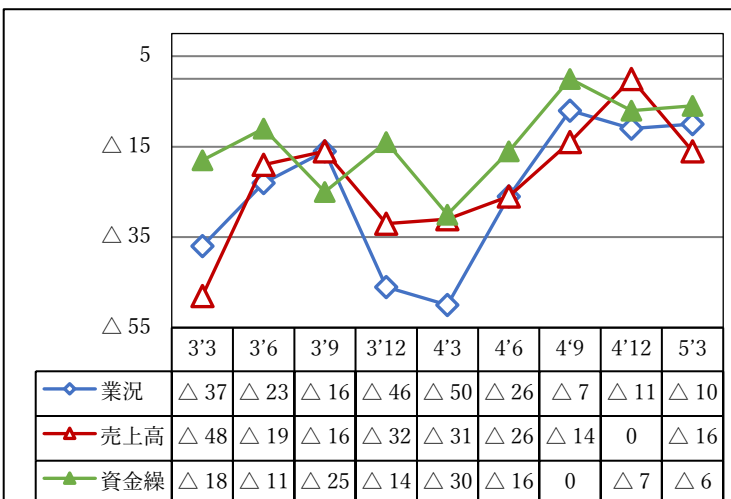
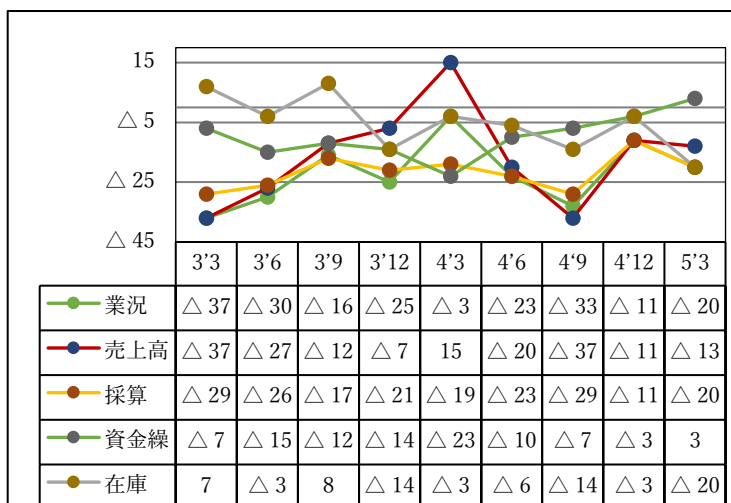
前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」33.3%、D.I.値△13.3と前年同期（15.4）に比べ28.7ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」30.0%、D.I.値△20.0と前年同期（△19.3）に比べ0.7ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△10.0（前年同期 D.I. 値△50.0）、売上高 D.I. 値△16.7（同△31.1）、資金繰り△6.7（同△30.8）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



5) サービス業

売上高

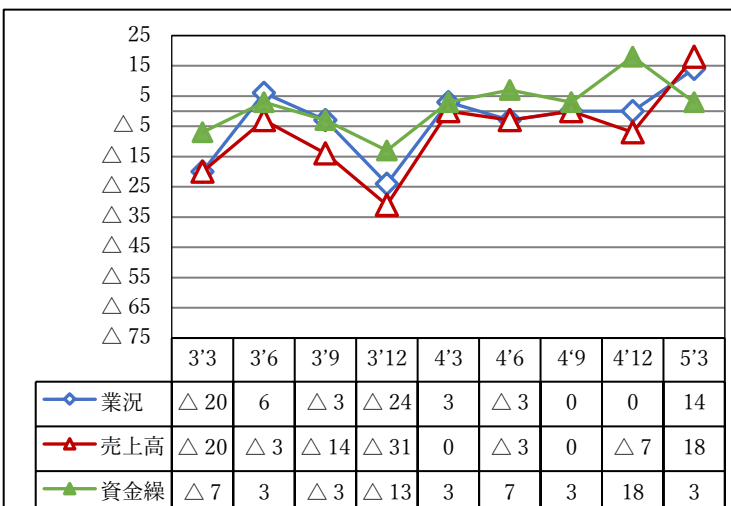
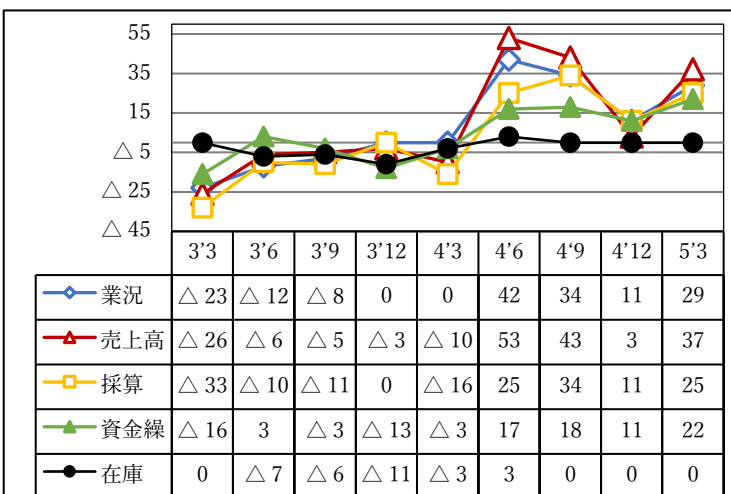
前年比で「好転企業」51.9%、「悪化企業」14.8%、D.I.値37.0と前年同期（△10.0）に比べ、47.0ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」44.4%、「悪化企業」18.5%、D.I.値25.9と前年同期（△16.6）に比べ42.5ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値14.8（前年同期 D.I. 値3.3）、売上高 D.I. 値18.5（同0.0）、資金繰り3.7（同3.3）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	4 件	7 件	1 件	5 件	10 件	27 件
実施していない	19 件	10 件	11 件	25 件	17 件	82 件
合計	23 件	17 件	12 件	30 件	27 件	109 件

表2 業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
店舗	0 件	1 件	0 件	0 件	2 件	3 件
販売設備	0 件	1 件	0 件	3 件	0 件	4 件
車輛運搬具	4 件	2 件	1 件	1 件	7 件	15 件
付帯設備	1 件	3 件	0 件	2 件	1 件	7 件
OA機器	0 件	0 件	0 件	0 件	2 件	2 件
福利厚生施設	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件	1 件
その他	0 件	1 件	0 件	0 件	2 件	3 件
合計	5 件	8 件	1 件	6 件	15 件	35 件

※複数回答あり

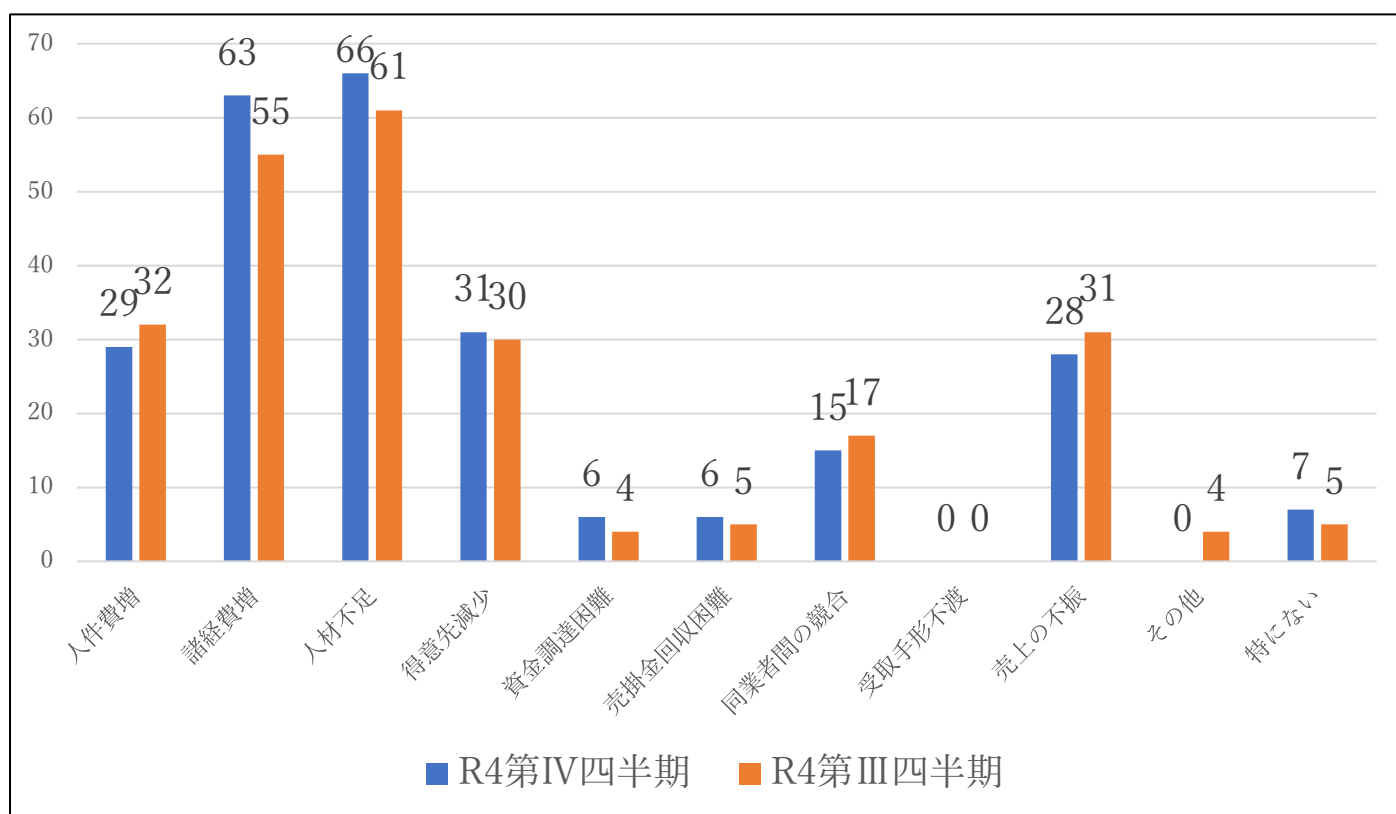
○全業種でみると設備投資に実施したのが27件、実施していないが82件となりました。前回は設備投資を実施したのが36件、実施していないが76件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具、次いで付帯設備となっています。前回車輛運搬具が最も多く、付帯設備が2番目に多く占めていました。

第4章 業種別 経営上の問題点

表1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合
製造業	人材不足	諸経費増	人件費増	同業者間の競合	その他
卸売業	諸経費増	売上の不振	人材不足	得意先減少	同業者間の競合
小売業	人材不足	得意先減少	売上の不振	諸経費増	同業者間の競合
サービス業	諸経費増	人材不足	得意先減少	人件費増	売上の不振
全業種	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	得意先減少

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位5位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別で見ると、全業種で「人材不足」、「諸経費増」、「人件費増」が多く占めており、建設業、製造業、小売業では前回同様、「人材不足」が多く占め、卸売業、サービス業では「諸経費増」が多く占めました。

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

○業界の問題点について

【建設業】

- ・3年前の新型コロナウイルス感染症対応資金(のため非課税)令和5年7月末日から(年1%5年払い)6,000,000円の返済が始まります。本当のところ、金融機関へのお付き合いも半分あり、半額でよかったのですが、昨年売上額の激減で、大変重荷になっています。
- ・人材不足が深刻で、人材獲得に向け労働環境改善に真剣に取り組まなければならない。
- ・昨年度、後期は公共工事の発注が少なかったため、今年度にも影響が出るのではないかと不安である。コロナ対策で国費が使われているため、今後の工事発注が不安である。

【製造業】

- ・4月より用紙、材料が更に値上げとなっている。価格転嫁が難しい。

【小売業】

- ・整備士不足とそのなり手がいない。仕事量はあるのに人数が足りなくて歯がゆい。
- ・温暖化。

【サービス業】

- ・経費の高騰がかなり響いています。
- ・今後の更なる需要回復に期待しているものの、国内の団体旅行減少が心配である。とある事業所の業態変更により、市内立ち寄り、昼食場所の確保が各旅行会社の課題であり、目的(施設立ち寄り)以外、通過型になってしまうかも心配しているところです。